

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 日進工具株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6157 URL <https://www.ns-tool.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 足立 有子 TEL 03-6423-1135
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,466	△8.2	751	△3.4	752	△3.4	481	△1.2
2019年3月期第1四半期	2,686	17.4	777	20.6	778	19.5	486	18.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 479百万円 (2.7%) 2019年3月期第1四半期 467百万円 (15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	38.49	38.40
2019年3月期第1四半期	38.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	15,094	13,629	89.9	1,084.86
2019年3月期	15,381	13,461	87.1	1,071.48

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 13,564百万円 2019年3月期 13,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,120	△2.4	1,230	△15.9	1,240	△15.5	840	△13.6	67.18
通期	10,380	△0.9	2,440	△15.3	2,460	△15.0	1,690	△14.2	135.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	12,504,000株	2019年3月期	12,504,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	477株	2019年3月期	477株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	12,503,523株	2019年3月期1Q	12,503,647株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、海外経済の減速に伴う輸出の鈍化や世界的なIT需要の減退などから、製造業を中心に弱含む展開となり、政府の景気基調判断も3年ぶりに下方修正されました。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連は、安全装備の充実や新車投入効果などから底堅く推移したものの、電子・デバイス関連や半導体製造装置、工作機械関連は、昨年後半から続くスマートフォン販売の不振やメモリ需要の減速、米国の対中関税強化や中国通信機器メーカーへの制裁措置等から厳しい状況が続き、小径工具需要は昨年秋口までに比べ弱含みでの推移となりました。

このような環境のなか当社グループでは、引き続き「INTERMOLD (東京及び名古屋)」や「機械要素技術展 (名古屋)」等の各種展示会に出展し、PCD (多結晶ダイヤモンド) やCBN (立方晶窒化ホウ素) を使用したエンドミルを中心に精密・微細加工に関する情報発信を積極的に行ったほか、昨年より発売を開始した銅電極加工用ロングネックエンドミルシリーズにラジラス形状の「DHR237R」を追加し、製品ラインアップの充実にも努めました。また生産面では、加工改善によるサイクルタイムの短縮やミスト飛散抑制による作業環境の改善と床洗浄廃液の削減等に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,466百万円 (前年同期比8.2%減)、営業利益は751百万円 (同3.4%減)、経常利益は752百万円 (同3.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は481百万円 (同1.2%減) となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル (6mm以下)」が1,835百万円 (前年同期比9.8%減)、「エンドミル (6mm超)」が256百万円 (同11.9%減)、「エンドミル (その他)」が186百万円 (同21.3%増)、「その他」が188百万円 (同9.2%減) となりました。

(注) 報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は286百万円減少し15,094百万円となりました。これは主に、法人税等の支払いによる当座預金の減少等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して453百万円減少し、1,465百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加等により167百万円増加し13,629百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は89.9%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,209,551	5,472,502
受取手形及び売掛金	1,531,469	1,452,703
商品及び製品	1,270,745	1,346,648
仕掛品	318,832	242,991
原材料及び貯蔵品	466,463	493,346
その他	134,979	146,554
流動資産合計	9,932,041	9,154,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,344,102	1,324,740
機械装置及び運搬具(純額)	1,980,234	1,974,183
土地	669,233	692,528
建設仮勘定	529,426	1,013,987
その他(純額)	162,917	175,720
有形固定資産合計	4,685,914	5,181,161
無形固定資産	84,393	75,714
投資その他の資産		
投資有価証券	52,550	51,425
繰延税金資産	349,712	352,678
その他	276,796	279,194
投資その他の資産合計	679,059	683,297
固定資産合計	5,449,366	5,940,173
資産合計	15,381,408	15,094,921

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,580	252,367
未払法人税等	374,802	260,504
賞与引当金	282,094	117,250
役員賞与引当金	164,520	35,880
その他	544,843	545,039
流動負債合計	1,643,841	1,211,042
固定負債		
長期未払金	275,688	254,736
固定負債合計	275,688	254,736
負債合計	1,919,530	1,465,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,900	442,900
資本剰余金	405,800	405,800
利益剰余金	12,552,577	12,721,220
自己株式	△813	△813
株主資本合計	13,400,463	13,569,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,781	3,994
為替換算調整勘定	△7,940	△8,531
その他の包括利益累計額合計	△3,158	△4,536
新株予約権	64,573	64,573
純資産合計	13,461,878	13,629,143
負債純資産合計	15,381,408	15,094,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,686,240	2,466,469
売上原価	1,108,496	1,000,466
売上総利益	1,577,744	1,466,002
販売費及び一般管理費	799,971	714,554
営業利益	777,772	751,448
営業外収益		
受取利息	14	11
受取配当金	243	599
作業くず売却益	2,920	4,048
その他	1,518	783
営業外収益合計	4,697	5,442
営業外費用		
為替差損	3,950	4,810
その他	17	-
営業外費用合計	3,968	4,810
経常利益	778,501	752,079
特別利益		
固定資産売却益	47	2,799
特別利益合計	47	2,799
特別損失		
固定資産売却損	193	-
固定資産除却損	57	286
特別損失合計	251	286
税金等調整前四半期純利益	778,297	754,593
法人税等	291,432	273,362
四半期純利益	486,865	481,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	486,865	481,231

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	486,865	481,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△398	△787
為替換算調整勘定	△19,272	△591
その他の包括利益合計	△19,671	△1,378
四半期包括利益	467,194	479,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	467,194	479,853
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

「長期未払金」(前連結会計年度 275,688千円)の表示方法は、従来、四半期連結貸借対照表上、「固定負債」の「その他」として表示しておりましたが、「その他」として表示するよりも、個別に表示する方が、表示上の明瞭性を高めるため、当第1四半期連結会計期間から、「長期未払金」として表示しております。